

資料⑥

高梁市地域防災力向上の目標・行動計画（案）

2021/8/23

目標	項目	目標の方向性	課題	取組の方向性	取組の目標		具体的な取組内容	支援・連携する市の取組	支援団体
市民 (自助)	自分自身や家族の命を守るために、 <b>市民一人ひとり</b> が <b>自ら判断して避難行動</b> を行う		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災情報の認知度が低い</li> <li>・事前に避難行動を考えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが、居住地の災害危険情報や防災行動に関して学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動を考えている人の割合 (72%→100%)</li> <li>・防災関連のイベントに3年間で参加したことがある人の割合 (33%→100%)</li> <li>・住んでいる地域の災害に対する安全性・危険性を把握している人の割合 (92%→100%)</li> <li>・地域のハザードマップを持っている・見たことがある人の割合 (71%→100%)</li> </ul>	a	マイ・タイムライン作成	①	岡山河川事務所 高梁青年会議所
						b	避難行動のための情報入手	②③④	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 ケーブルテレビ
						c	非常持出品の準備	⑤	防災士会 自主防災組織
						d	防災講座や学習会等への参加	⑤	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 公民館 防災士会 自主防災組織 高梁青年会議所 消防団
						e	防災訓練への参加	⑥	自主防災組織 消防本部
						f	防災教育の受講	⑤	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 教育委員会 高梁青年会議所
						g	防災士資格の取得	⑩	備中県民局 防災士会
						h	個別避難計画の作成	⑪	社会福祉協議会 自主防災組織 消防団 民生委員

目標	項目	目標の方向性	課題	取組の方向性	取組の目標		具体的な取組内容	支援・連携する市の取組	支援団体
市民一人ひとりが自らの命を守る行動がとれる	地域(共助)	市民一人ひとりの避難行動を後押しし、地域で互いに助け合って地域の安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ機能が低下している</li> <li>・市や防災組織間の情報共有がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が、負担が少ない防災活動の事例などを参考にしながら、「できること」から始める。</li> <li>・地域が、より大きな組織で連携して地域住民の防災力を向上するための体制をつくる。</li> <li>・地域が、市と協力して連絡体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を毎年行う自主防災組織の割合(75%→100%)</li> <li>・自主防災組織の結成割合(76.8%→100%)</li> </ul>	A	自主防災組織の結成	⑧	備中県民局 防災士会 自主防災組織
						B	防災士・自主防災組織等連絡会の活動	⑤	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 公民館 防災士会 自主防災組織 高梁青年会議所 消防団
						C	自主防災組織活動促進に向けたワークショップ受講	⑤⑨	備中県民局 防災士会 自主防災組織
						D	地区防災計画の策定	⑤⑨	備中県民局 防災士会 自主防災組織
						E	防災マップの作成	④⑤⑨	備中県民局 防災士会 自主防災組織
						F	自主防災組織等による防災学習会開催	①⑤⑨	岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 公民館 防災士会 自主防災組織 高梁青年会議所 消防団
						G	自主防災組織等による防災訓練実施	⑥⑦⑨	消防本部 高梁中央公民館 社会福祉協議会 防災士会 自主防災組織 消防団 民生委員
						H	自主防災組織等による避難所の自主運営	⑦	防災士会 自主防災組織 消防団
						I	避難行動要支援者の個別避難計画に基づく避難支援	⑪	社会福祉協議会 自主防災組織 消防団 民生委員

目標	項目	目標の方向性	課題	取組の方向性	取組の目標		具体的な取組内容	支援・連携する市の取組	支援団体
	市 (公助)	災害から市民の命が守られるよう、市民の適切な避難行動を促進させるとともに、市の災害対処能力を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細やかな情報発信が求められる</li> <li>整備が必要な計画が多くある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が、先行事例などを参考に情報伝達方法を改善する。</li> <li>市が、整備が必要な計画やマニュアルについて整理し、優先順が高いものから策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画、マニュアルの策定、共有</li> <li>システムの整備、活用</li> <li>防災ラジオ、市メール、公式Twitter、LINE登録者数(14,000件)</li> </ul>	①	マイ・タイムライン作成支援		岡山河川事務所 高梁青年会議所
②						情報伝達手段の多様化・広報			
③						河川監視カメラの追加整備・広報		ケーブルテレビ	
④						ハザードマップの電子化			
⑤						防災講座や学習会の開催		岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 教育委員会 公民館 防災士会 高梁青年会議所 消防団	
⑥						防災訓練の開催		岡山河川事務所 岡山地方気象台 備中県民局 消防本部 公民館 社会福祉協議会 防災士会 自主防災組織 高梁青年会議所 消防団	
⑦						避難所運営マニュアルの策定・配布・運用		防災士 自主防災組織	
⑧						自主防災組織設立に向けた説明会の開催		備中県民局 防災士会 自主防災組織	
⑨						自主防災組織活動促進に向けた補助			
⑩						防災士資格取得への補助			
⑪						避難行動要支援者名簿の管理システムを活用した個別避難計画の作成		社会福祉協議会 自主防災組織 消防団 民生委員	